



ひとみかがやく

尊重

自律

町田っ子

共創



【1月号】

小田原市立町田小学校
学校だより

令和7年1月17日



学校HP

学び合い 考える子

ちがいを生かし合い 心を合わせる子

たかめ合い 健やかな体をつくる子

新しい年、2025年を迎えました。今年は巳年です。巳(蛇)は昔から神様の使いである神聖な生き物と言われてきました。また、脱皮を繰り返しながら成長していくことから、新しいことが始まる年になるとも言われています。

子どもたちの新しい挑戦を
今年も全教職員で応援していきます。



*記事の色は、【めざす子どもの姿】の色と合わせています。

◇あいさつ◇

12月、事務局委員会の提案により、朝の時間を使ってあいさつ運動が行われました。なかよし班のメンバーで東西の昇降口と階段に並び、登校してくる友達にあいさつをしました。



また、目標をもってあいさつに取り組めるように、6週間のミッションチャレンジも始まりました。1週目「朝自分の教室に入ったら教室の全員にあいさつをする。後から入ってきた子にあいさつを返す」2週目「同じ学年の違うクラスの子、違う学年の子にあいさつをする」3週目「先生にあいさつをする」4週目「ボランティアさんや地域の人にあいさつをする」というように、ミッションは週ごとにレベルアップしていきます。そして、5・6週目は1〜4週目のミッション全てに挑戦します。

活動が始まり1か月がたちましたが、子どもたちの様子が少しずつ変わってきたことを感じています。あいさつの声が大きくなった子、小さい声でもあいさつするようになった子、まだ声は出なくても頭を下げるようになった子。子どもたちが考えた活動が、あいさつのよさを実感する機会となっています。

さて、私たちが日ごろ使っている「いってきます」「ただいま」「いただきます」「ごちそうさま」というあいさつが、英語やフランス語、スペイン語では特に決まった表現はないと言われているのはご存じですか。日本は昔から多くのあいさつの言葉を持ち、様々な生活の場面で使い分けてきました。それでは、なぜあいさつは大切なのでしょうか。

あいさつは漢字で「挨拶」と書き、「挨(ひら)く」「拶(せま)る」という読みがあります。つまり、あいさつは心のドアをひらいて近づくことです。家族、友達、地域の人たちなど、様々な人たちと心をつなげながら生きている私たちにとって、あいさつは自分と周りの人をつなげる大切な方法と言えます。

あいさつは・・・

① 気づいているよ、受け入れるよというメッセージ

あいさつをしないと、あなたに気づいていない、あなたを認めないというメッセージになってしまいます。

② なかよくなるきっかけ

あいさつには緊張をほぐす効果があります。だから、その後の会話が弾みます。

③ 気持ちの切り替え

例えば、けんかをして気まずい時も「ごめんね」と言ったり、次の日「おはよう」と言ったりすることで、相手との関係がよかった経験は誰にもあることでしょう。あいさつは気持ちをリセットする効果があります。

冬休み明けの朝会では、「ありがとう」の言葉を取り上げて話をしました。

★ありがとう!★ (朝会より一部抜粋)

「ありがとう」は「有り難い」という言葉が由来と言われ、「有ることが難しい、めったにない貴重なこと」という意味です。「ありがとう」は「めったにない貴重なこと」に対する感謝の気持ちを表す言葉です。

私たちは物をもらったり、教えてもらったり、助けてもらったり、優しくしてもらったりしたときに、「ありがとう」と言います。でも、普段「当たり前」と思っていることの中にも、実は「めったにない貴重なこと」がたくさんあります。例えば、朝食や給食が用意されること、安全に登校できること、きれいなトイレを使えることは、当たり前でしょうか。

「ありがとう」という言葉は「これは当たり前」と思っているときには出てきません。「これは当たり前ではない。貴重なことだな。」と心が動いたときに、自然に出てきます。当たり前ではないということに気づける心を持ち、感謝の気持ちを伝えられ人になってほしいです。

「おはよう」で始まり「お休みなさい」で終わる一日になっていますか。「ありがとう」という言葉で感謝の気持ちを伝え合っていますか。年の初めに、ご家庭でもあいさつについて話題にいただけるとありがたいです。

◇福祉学習(4年生)◇

12月20日、4年生が福祉学習を行いました。道徳で「ヘレンケラー物語」をもとに、公正公平な社会の実現を目指す大切さや誰に対しても分け隔てなく接することについて考えた後、中町にお住まいで視覚障害をおもちの方に話を伺いました。

子どもたちが驚いたのは、「自分でできることはみんなやります。」という言葉でした。「水泳、陸上などのスポーツ、料理、入浴。やっている生活は他の人と同じです。やり方が違うだけ。自分で考えて工夫して、自分なりのやり方を見つけて毎日を過ごしています。」という話を真剣な表情で聞いていました。

この日は、ガイドヘルパーさんも一緒にいらっしゃいました。「外出は一人ではできないけれど、ヘルパーさんと一緒ならどこへでも行かれる。」と微笑みながら語る姿から、人と人のつながりの大切さも学ぶことができました。

子どもたちがはっとした表情を見せたのは、地震や津波が起きた時の避難について質問したときです。「一人では逃げられません。でも、地域で助け合うようになっていいるから、たぶん地域の人々が助けに来てくれます。」

話の中では、「いろいろなことに気をつけているから神経が疲れるんですよ。」という言葉もありました。視覚障害をおもちの方の生活の仕方だけでなく、困っていること、不安なことについても目を向け、自分たちにできることは何かを考えるきっかけとなりました。



「〇時〇分」と音声で
教えてくれる時計があ
って便利なのよ。

爪を切りたいときは、や
すりを使います。料理で
は包丁も使うのよ。



【子どもたちの感想】

- 目が見えなかったらできることは少ないと思っていたけれど、意外にたくさんの方ができていることが分かった。
- 自分ができることは自分でやるということは難しいけれど、一生懸命に生きていることがすごいと思った。
- 目が見えないのにスイミングをあきらめなかったのがすごいと思った。でも、ヘレンケラーもそうだけれど、支えてくれる人がいないとがんばれないと思う。だから、全員が協力できる社会がいいと思った。

前向きに生きる姿に驚き、尊敬の気持ちをもつ子が多くいました。相手に対して尊敬の気持ちをもつことが公正で公平な社会の第一歩であり、助け合いの行動につながっていくのだと子どもたちの感想を読んで思いました。

2月の行事予定

1	土	
2	日	
3	月	読書タイム(スクボラ来校)
4	火	算数タイム(スクボラ来校) ICT 支援員来校
5	水	議場見学(6年) 4校ふれあい交流会(わかば)(山王小) スクールカウンセラー来校
6	木	
7	金	
8	土	まちだっこ食堂開催 (11:00~14:00 今井公民館)
9	日	
10	月	読書タイム(スクボラ来校) ICT 支援員来校 なかよし班活動
11	火	〈建国記念の日〉
12	水	
13	木	
14	金	委員会活動 ICT 支援員来校 図書ボラ活動日 10:00
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	心理相談員来校 教育相談日(希望者)
19	水	
20	木	生け花体験(昼休み・わかば希望者)
21	金	
22	土	
23	日	〈天皇誕生日〉
24	月	〈振替休日〉
25	火	
26	水	6年生を送る会(2・3校時)
27	木	朝会
28	金	



〈3月の主な行事予定〉

- 5日(水) 年度末懇談会
- 7日(金) なかよし班給食 なかよし班遊び
- 14日(金) 学校運営協議会
6年白鷗中学校新入生説明会
体験授業
- 19日(水) 給食終了 心理相談員来校
- 21日(金) 卒業式
- 24日(月) 6年通知表相談日(~25日)
- 25日(火) 修了式・離任式
- 26日(水) 1~5年通知表相談日(~27日)